

令和8年度 第1回藤島地域振興懇談会 会議録(概要)

期 日：令和8年7月21日(火)

場 所：藤島庁舎3階 大会議室

第 1 回藤島地域振興懇談会(会議概要)

- 日 時 令和8年 7 月21日(火) 18:00～20:20
- 会 場 藤島庁舎3階 大会議室
- 出席委員 10 名:成澤 剛、太田 幸治、佐藤 智信、佐藤 浩幸、井上 夏、
高山 千代子、齋藤 昭彦、大沼 富美雄、星川 洋平、須貝 高貴
- 欠席委員 5 名: 上田 智哉、成澤 克志、小鷹 奈美子、大久保 紀子、堀 綾乃
- 市側出席職員
- 〈教育委員会〉 管理課教育施設在り方検討室長 疋田 昌広
- 〈藤島庁舎〉 支所長 佐藤 智井、地域づくり推進課長 大塚 昌史、
産業建設課長兼エコタウン室長 上林 喜博
地域づくり推進課課長補佐 佐藤 千冬、地域づくり推進課副主幹 成田 譲
地域づくり推進課主査 今野 小巻
- 〈地域振興課〉 専門員 北山 幸平

○次 第

1. 開 会 大塚 昌史 地域づくり推進課長
2. 支所長挨拶 佐藤 智井 藤島庁舎支所長
3. 会長あいさつ 成澤 剛 会長

4. 報 告

- (1) 藤島地域義務教育学校 開校準備委員会について 報告 1

5. 説 明・協 議

- (1) 令和8年度藤島地域主要行事について

・令和8年度藤島地域主要事業

資料 1-1

・令和8年度藤島地域主要事業

資料 1-2

- (2)その他

6.その他

7.閉 会

4. 報告

- (1) 藤島地域義務教育学校 開校準備委員会について
(教育施設在り方検討室長 説明)

委員より質問・要望

【委員】

学校の見直しは、藤島地域の魅力のきっかけになるようなものになるように、地域の方々を巻き込んで進めていただきたい。

6月30日開催の開校準備委員会でどんな意見が出たか、鶴岡市内で藤島以外に義務教育学校についての動きがあるのか。

【教育施設在り方検討室長】

第1回の会議では、校名選定についてオープンではなく地域の方からご意見をいただきたいと説明したが、学校の教員の方など関係者からも意見を貰いたいと意見が出て了承された。市内の他地域では義務教育学校関連の動きはない。

【委員】

施設一体型義務教育学校の4-3-2ブロック制という考え方について教えてほしい。
将来生徒が減り空いてしまう教室を有効活用できるように検討してほしい。

【教育施設在り方検討室長】

9年間の一貫教育を前期、中期、後期を節目となる期間を設けて4・7年生の時もリーダー的な教育が出来るような形で考えているもの。

基本的な設計については現在事業者の選定を進めているところ。今後、業者に相談し地域に説明しながら進めていきたい。

5. 説明協議

- (1) 令和8年度藤島地域主要事業について

・令和8年度藤島地域主要事業

資料 1-1

・令和8年度藤島地域主要事業

資料 1-2

(支所長・地域づくり推進課長・産業建設課長・農業委員会事務局長
地域づくり推進課今野主査説明)

委員より意見・質問

【委員】

藤島歴史公園から始まる地域づくり事業について、現在電球が減ってきていてクラウドファンディングに挑戦しているところだが、この予算を電球の購入に充てられるのか。例年よりどのくらい増えたか。

【地域づくり推進課長】

こちらは、ワークショップやイルミネーションの取り付け取り外し、電球等購入費用の総額である。予算はほぼ昨年どおり。

【委員】

要望だが、Hisu 花イルミネーション点灯式にもお祭りの補助をいただきたい。このままでは電球は増やせない状況である。

【地域づくり推進課長】

ご要望あったことは承知した。

【委員】

Hisu 花の水はけがが悪く足場が悪いので整備をお願いしたい。

【産業建設課長】

以前より対策を講じているが、なかなか改善が出来ない。要望として頂戴する。

【委員】

クラウドファンディングの状況を教えてほしい。満額にならないと返金になるのか。

【地域づくり推進課長】

Hisu 花ワークショップが主導しているもので、目標の150万円に対して現在90万円ほど集まっている。

【委員】

クラウドファンディングを7月31日まで目標150万円で行っている。大藤棚を満開にするには2200万円必要だが、少しでも増えれば景色が変わり地域の人に喜んでもらえるので挑戦した。ここまで105名の方からご支援をいただいている。満額にならなくても電球に代えさせていただく形になっている。

【委員】

ぽっぽの湯は以前は湯量が少ないということだったが、今は大丈夫か。

【地域づくり推進課長】

令和5年にパイプのスケール除去を行い、今は湯量・温度とも確保されている状況である。

【委員】

3年前にスケール工事を行い、毎分 100ℓ前後出ており、源泉かけ流しで営業している。年数が経つとパイプが狭くなる可能性もあるのでスケール除去を定期的に行ってほしい。

【委員】

熊対策はどのようになっているのか。

【産業建設課長】

市では市民部、農林水産部連携した体制が作られた。庁舎地域は庁舎で対応するが、事態の深刻化によって本所からの応援をいただくことになる。あわせて、不要果樹の伐採の補助も行っており、藤島地域でも8名の方が申請している。

【委員】

夏祭りに関して、今年が最後かもしれないという話が聞こえてきたが本当か。特に東栄小・渡前小・各地域で行っている伝統芸能を続けるためにも伝統芸能祭は引き続き続けてほしい。

【産業建設課長】

夏祭りは今後開催しない方向で検討している。焼肉フェスティバルや魚のつかみ取りが出来なくなり、規模を縮小しながら開催してきたが、時期的にも熱中症警戒アラートの発生状況で中止の事態も考えなければならず検討が始まっている。伝統芸能祭については夏祭りとの同時開催が出来なくなるが、継続していく方向で検討していきたい。

【委員】

庁舎正面玄関の ATM 前に白線を引いて駐車できるようにした方が利便性が高まるのでは。

【地域づくり推進課長】

ATM 利用者を含めた動線について検討する。

【委員】

夏祭りが廃止された場合、予算をふじの花まつり、秋祭りに分散する形で獲得していただきたい。将来は受益者負担でイベントを継続していけるようにしていきたいが、自走できるまでご協力をお願いしたい。

【産業建設課長】

担当課としても夏祭りの予算を全部無くするのではなく、ふじの花まつり、秋祭りに振り分ける形で検討していきたい。

【委員】

ぽっぽの湯の厨房にエアコンがついたが、施工の位置が悪く暑すぎると苦情をいただいているので確認してほしい。

【地域づくり推進課長】

確認する。

【委員】

昨年農業所得が上がったが、同時に所得税等の負担が増えている。そこに関して注意喚起や支援する施策をお願いしたい。

【農業委員会事務局長】

農家は米価が上がり良かったが、今年度米価が下がりそうなことには危機感を覚えている。対策について農業委員会もこれから要望していく。離農者が増えないように検討していきたい。

【産業建設課長】

農業所得の関係で元気倶楽部では節税対策研修会や経営改善の研修会を開催し、経営改善につなげていただくように考えている。

【委員】

ぽっぽの湯は来場者20万人でコロナ禍前に戻っている。予算が8700万円とあるが、収入も7100万円実績があり、入湯税も1300万円くらいある。施設設備は26年経ち、色々なところが壊れているが、職員・役員の努力や田和楽の食堂のおかげで家族連れの利用も増えている。建物の悪いところを要望書として庁舎に提示している。事故があつてからでは遅いので30年に向けて修繕のタイムスケジュールをお願いしたい。

【地域づくり推進課長】

ぽっぽの湯は機能面では優先順位をつけて修繕しているが、30年に向けて老朽化していることは承知している。市全体の問題として共有していきたい。

【委員】

藤島地区地域活動センターの老朽化が進んでいる。現在トイレの水道が使えない。早急に直してほしい。今年の夏祭りに子ども相撲を開催するが、会場となる武道館に冷風機等を設置してほしい。小中一貫校の建設に伴う東栄小、渡前小を含めて利活用を前もって考えておくべきである。藤島は米づくりの地域であるので、農業の検討委員会を設置して将来像を考えないと後継者も具体的なビジョンが見えないと思う。

【委員】

全体的にビジョンが見えない。文厚エリアに関してもこの地域をどうしていくか考えていけないといけない。農業に関してもビジョンが足りない。庁舎でもこういった形で持っていくのか勉強会を開いてもいいのでは。

【委員】

農業団体の代表として地域振興計画基本方針 1 に579万6千円の予算が計上されているこ

とは大変ありがたいことだ。藤島は米を中心に発展してきた地域であり、農家所得を確保しながら若い世代が農業を続けていける環境を造ることが地域振興となる。担い手の確保が大きな問題であり、今後続けていくには支援や計画が必要である。

【委員】

文厚エリアについて構想策定は見送られることとなったと文言があるが、8年度のみなのか長いスパンで見送られることになったのか。

【地域づくり推進課副主幹】

庁舎では義務教育学校の建設に併せ、地域振興として文厚エリアの構想策定を目標にしていたが、7年度中に策定は見送るという結論になった。学校施設の詳細が決定してきた段階で再検討していければと庁舎では考えている。

【支所長】

令和8年3月議会で、まずは義務教育学校の整備に向けて優先して注力していくと答弁している。今は文厚エリアについて計画は立っていないが、学校の基本計画が固まった段階でタイミングをみて、文厚エリアをどうしていくか検討していければと庁舎としては考えている。

【議長】

文厚エリアの審議を完全になくしてしまうと何もなくなってしまうので継続的にこの場でやっていくのは構わないか。

【支所長】

義務教育学校の規模感が固まれば、その他の周辺施設についても意見をお伺いすることは継続してかまわないが、そのために改めて組織を立ち上げることは考えていない。まずは、義務教育学校に注力し、経過の中でどうしたらいい方向に持っていけるかアイデア等いただきたい。

【委員】

今は義務教育学校の建築に注力するのが基本的な考え。その中で進んでいる段階で色々な意見を出していくと支所長も発言しているので我々は前向きな意見や答申をしていく。武道館は検討材料として挙がっているのか。

【地域づくり推進課副主幹】

活動センターに付随している武道館は新しい学校に作る武道場を武道館代替施設として地域開放していくという方針が決まっている。

【委員】

もし武道館を作るということになれば、学校施設とか共有する訳だから、学校以外の武道館を建てるとなればその予算をどこから捻出しなければならない。そのお金をどこから捻出する

か具体的な話はあるのか。

【地域づくり推進課副主幹】

今のところ武道館を別施設で建てる予定はない。義務教育学校の武道場を一般開放することが、方針で決まっている。

【教育施設在り方検討室長】

学校の中で武道場を地域に開放するものとして設計していくので、学校に武道場が出来ると地域の方がその武道場を使えるようになるという形で今進めている。

【委員】

大人が武道場を借りるとなれば小中学生が使う施設では規模がだいぶ違う。高校生が使うのであればもっと大きなものを建てるだろうがその対処はどのようなになっているのか。

【教育施設在り方検討室長】

基本的に地域に開放する前提で設計するので地域の大人も使える規模になると思う。

【委員】

設計は今できているのか。

【教育施設在り方検討室長】

設計についてはこれから発注する準備をしているところなので、現時点で平面図とかがある状況ではない。出来ると具体的お話が出来るのでもう少しお待ちいただきたい。

【委員】

先ほどぽっぽの湯の話があったが、安全に関わる話は最優先でやってほしい。

耕作放棄地はそのままにしておく熊やイノシシの出没につながるので所有者にお願いするなど改善してほしい。

農家について非常に大変な時代になってくる。農協さんと行政と協力して補助金や利子補給などをお願いして欲しい。

【庄内農業高等学校長】

少子化が進み、入学定員の減少が大きな問題である。学校の魅力は非常に大事なことであり、魅力化の活動自体が教育的に価値のあることだと先生方にも生徒にも言っている。地域連絡協議会等地域の皆様より多大な援助をいただいている。今後どうぞよろしくお願いしたい。

【委員】

義務教育学校の設計者はどのような方を選定しているのか教えてほしい。

【教育施設在り方検討室長】

大規模な工事になるので複数事業者が連携した発注になる見込み。

【地域づくり推進課副主幹】

どういう形で発注するかを市役所内部で検討している状態である。

【委員】

地元優先になるのか。

【地域づくり推進課副主幹】

どういう状態で発注するかという所で調整している段階なので、教育委員会でも説明できない状況だ。

【委員】

素敵な学校にしてほしいのでよろしくお願いいたします。

(2)その他 特になし

6. その他 特になし

7. 閉 会